

ヨムズフェスティバル映画祭
シネマ&トーク

2/17 (土) 13:00~16:45 開催

この世界の片隅に

昭和20年、広島・呉。
わたしはここで生きています。



主演：のん 原作：こうの史代 (双葉社刊) 音楽：コトリンゴ 監督：片淵須直

日本中の想いが結集！100年先も伝えたい、珠玉のアニメーション

konosekai.jp

映画

©こうの史代・双葉社 / 『この世界の片隅に』製作委員会



ストーリー

突然の縁談に良いも悪いも決められないまま話は進み、昭和19年、18歳のすずは呉へとお嫁にやって来る。呉はそのころ日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄えていた。

見知らぬ土地で、妻となったすずの日々が始まった。

配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日の暮らしを積み重ねていく。

昭和20年3月。呉は空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。

それでも毎日続く。そして、昭和20年の夏がやってくるー。

トークゲスト

アニメーション映画監督 片渕 須直 さん

【演題】

「すずさんの生きた時代を描いて」



プロフィール

アニメーション映画監督。大学在学中から宮崎駿監督作品『名探偵ホームズ』に脚本家として参加。『魔女の宅急便』では演出補を務めた後、『名犬ラッシー』で監督デビュー。

その後、『アリーテ姫』を監督。TVシリーズ『BLACK LAGOON』の監督・シリーズ構成・脚本。昭和30年代の山口県防府市に暮らす少女・新子の物語を描いた

『マイマイ新子と千年の魔法』を監督。ロコミで評判が広がり、異例のロングラン上映とアンコール上映を達成。NHKの復興支援ソング『花は咲く』アニメ版の監督も務めている。

定員250名に対し、400名を超える応募をいただきました！

参加者からの声

[10代女性]

- ・すずちゃんがかわいらしかった。
- ・製作の際の細かい話がきけた。
- ・非劇場だが、音響がよかった。
- ・監督の話が面白かった。

[20代女性]

- ・松山が写っているという、言われないとわからない細かな部分も聞いて良かった。設定資料も見られて良かった。戦争の悲惨さより、生活を描いているところがこの作品の良いところだと思う。
- ・戦争を舞台としていたのに、重苦しい雰囲気より、すずさんたちの頑張ろうとする生活が明るくて良かった。感動した。当時の生活で新しいことが学べた。
- ・昨年、映画館で見て原作を読み、ずっと忘れられない作品をもう一度みることができうれしかった。自分一人だけの鑑賞では知らなかった、気付けなかったことを得ることができて大変満足度の高いトークイベントとなった。
- ・時代背景や実際の天気まで丁寧に調べて作りこまれていることが分かり、とても貴重な話が聞けて映画祭に参加できて良かった。

[30代女性]

- ・どの話も大変興味深かった。早速また見直したいと思った。
- ・トークショーや質疑応答をきいて、この映画がとても緻密に詳しい取材で描かれているのだと思った。だからこそ何度観てもすばらしい映画なんだろうと思う。
- ・片渕監督自ら、当時の風俗等々、映画を観ただけではなかなかわからなかった内容も解説いただきとても面白かった。映画に対しての情熱がダイレクトにとっても伝わってきて胸を打たれた。
- ・初めてこの映画を観た。戦争中の日常の生活がすごく丁寧に伝わってきて、すずさんの生きた時代を身近に感じることができたように思う。片渕監督のトークもおもしろかった。
- ・戦争を市井の姓の視点で描いた作品も良かったし、監督の丁寧な説明も分かりやすかった。何より鑑賞する側の意識も高く、質問もバリエーションに富んでいたのが上質なシネマ&トークを堪能できた。
- ・私は広島出身だが、広島にいて8月15日の出来事については多く学ぶが、地方都市については全く知らないことにショックだったが、これは良いショックで松山のことも含めて知らないといけなかったと思った。今まで普通という言葉が嫌いだったが、ありなのかも思えた。
- ・すばらしかった。明日の生きる私の力になりますように。

[40代女性]

- ・監督のトークで、映画作りの細やかな下準備の話が面白かった。ものすごい量の下調べでした。
- ・時代背景もよくわかり、監督の思いも伝わってきた。何回も観たい。
- ・一昨年に観て、その初めての衝撃を思い出しながら、制作にあたってのお話、またこの映画に込められた想いをうかがって違う視点をいただいた。また繰り返し観たいと思ったし、今回コムズという場所で男女の共に生きる社会ということを改めて感じられて良かった。

- ・ 微細なところまで調べられたその事実が、作品世界を深いものにしていて伝わった。質問への回答もすばらしく、本当にこの機会に参加できてありがたかった。
- ・ 監督さんの話を伺って、また何度も映画を観たいと思った。女性の服装や思わぬ形での女性の社会進出の話など興味深かった。
- ・ 映画を作る背景、行程が知れて興味深かった。女性目線で細かな視点で考えられていて想像以上に大変だと思った。エンドロールの意味に感動した。
- ・ 想像していたよりとても良かった。アニメだったのでどうかなと思っていたが、途中でアニメと感ぜずにいた。こんなに多くの調査して映画ができるという大変さがわかった。
- ・ すずさんと同年代の亡くなった祖母のことを思い出しながら見ていた。
- ・ 映画制作にあたって監督の緻密な取材を基にしたドキュメンタリーがアニメを通して観るものに入りやすいと思った。
- ・ 以前から観たいと思っていた。戦時中という非日常の中の一般の人たちの日常、ささやかな幸せに思いを馳せた。あの時代と今はつながっていることが胸に迫った。監督の話を伺って、とても細やかなこだわりがあることを知り、また改めて観たいと思った。
- ・ 話の流れと音楽もよく、映画に引き込まれた。すずさんの前向きな考えや世界観がよかった。
- ・ 映画って深いなあと改めて感じた。一度観て終わりはもったいない。制作のいろいろな想いを知れたので、またもう一度観たいと思った。
- ・ 子どもと共に知らない戦時中の話をより深く肌で感じる事ができた。こういった体験をすることは大切ですね。
- ・ 感動して言葉がでません。すずさんの一生懸命な姿に感動。

[50代女性]

- ・ 映画は観るたびに観るごとにいろいろな想いを感じ、色々考えさせられるものだった。トークは、「すずさんの生きた時代」の知らない一面を教えていただいた。また、映画を作るためにあたっての想いなどとても充実した時間だった。
- ・ 最後の質問に対する片淵さんの返答を自分の中でもう一度吟味してみたいと考えさせられた。
- ・ 普通に生きることがどれだけ大切かということが、とても心にせまってきた。
- ・ 戦争映画としてはなく、普通の女の子の人生・生活や成長、何気ない日々の出来事や喜びが、戦時中の苦しい生活や空襲が広島原爆で味わう苦しみや悲しみ今の私たちと何らかわりない生活が呉にそこにあった事と戦争によって起こる非日常とが描かれてとてもリアルに感じた。
- ・ 質問コーナーが大変よかった。ていねいな回答にまたすぐ、「観たい！」という思った。
- ・ 普通に生きるのってなんなのだろうと考えた。
- ・ 映画館では気が付かなかったことや新たな発見があったのが良かった。
- ・ 制作する具体的な素材集め、リアル映像等見せていただき、その大変さが伝わってきた。
- ・ 戦争の恐ろしさ、愚かさを改めて思った。
- ・ 映画制作の裏であんなにもたくさんの方の当時のことを調べられたとは！すずさんが増々身近に感じられるようになった。また見たいと思う。
- ・ 便利さを手に入れた代わりに人の温もりや心を失った現在、先に進むことばかりで足元を見ようとしない現在。こんな時だからこそ、このような映画は必要だと思う。

[60代女性]

- ・ 今まで **Twitter** などで監督のお話は聞いていたが、生で聞けてよかった。
- ・ 戦争、空襲が人の人生、生き方を変えてしまいむごい。亡くなってしまう大勢の人達、今の平和は、この時代の人達が土台となっていると思う。
- ・ 映画1本撮るための時代考証の大切さが分かり、数回観てみたい映画の1本となりました。

- ・生のトークが聞けて最高！ 何度もみたい。
- ・何度も観ても心が揺さぶられる映画。今回観られてよかった。
- ・女性の当たり前のささやかな、日常の幸せを奪ってしまう戦争に改めて憤りを覚えました。
- ・戦後に生まれたので、体験はないですが自分だったら耐えられたらどうか。

[70代以上女性]

- ・監督から映画製作の話を知ることができたこと、戦中の市民の生活を知ることができよかった。
- ・私が生まれた頃の時代で、実際に叔母が広島で亡くなっているの、涙が思わず込み上げる場面が多く感動した。
- ・昔を思い出して懐かしく見させてもらった。監督のトークもよかった。
- ・戦時中は、生後間もない頃で、戦争の恐さ、核兵器の恐さを何も知らない世代です。先人が身を持って平和な今日を築いてもらったのに、現在は何か不憫さを感じている。今後も平和を祈るのみです。
- ・昭和11年生まれで、叔父2人出征、1人戦死です。それだけに色々感銘深いものがあった。懐かしい反面、胸が痛む場面もありました。平和な平成で生きられる幸せを感じる。
- ・大勢の人の犠牲によって、今の平和な暮らしがある事をしみじみ思う。
- ・景色が実際と似ていて驚きました。当時を思い出しました。
- ・すずさんより、少し年下の時代を生き抜いた者です。講演は、興味深く拝聴しました。すずさんが、まだお元気でおられることは、うれしい限りです。平和が続きますように。
- ・戦争体験者として、拝見させてもらった。とてもよく出来た映画で驚きました。しかし、もっとみじめなことばかりです。戦争は、何がなんでも起こしてはならない。
- ・日々のお天気まで調べた上での映画制作に、胸を打たれる理由の1つだと改めて感じた。
- ・普通で当たり前の日常がどれだけ有り難いことかということに身染みて感じました。

[10代男性]

- ・本作は、作り・キャラクター・あるものすべてにしっかり意味がある。片渕監督の表現力の高さを学べた。なぜここまで愛しく身近に感じられる作品であったのか。監督の話をしっかり聴くことができ、いい環境で本作に触れられた。
- ・戦争という自分たちが知らなかったことをあのように鮮明に表現し、素晴らしい映画だと思う。
- ・すごく分かりやすく皆さんの思いなどが伝わってきました。また参加したいです。

[20代男性]

- ・戦争についてよく調べており、詳しく知れてよかった。
- ・映画へのこだわりが本人から直接聞けるという機会はめったにできないもの。
- ・身近で監督のお話を深く聞くことができ良かったです。
- ・監督の視点を生で聞けて本当にこの監督だから映画をつくれたのだと納得できました。
- ・知りたかったことを聞くことができました。
- ・初めて映画を観させていただきましたが奥深い映画でもう一度見たいと思う映画でした。

[30代男性]

- ・その当時を克明に再現・描写されていたことに驚いた。また、そのたゆまぬ追求にも再度驚かされた。この世界の片隅に、その片隅にという本当の意味がよく分かった。
- ・トークにおいて、知らない事実を多く知ることができた。今後この映画の裏話も含め戦争を忘れさせないためにも、本で執筆されてもいいのではないかと思う
- ・より深く知る機会を与えてもらったのが本当に貴重です。ありがとうございます。

- ・細かい設定について調べられていたことがわかった。
- ・自分以外の方の作品に対する意見が聞けたことがよかった。
- ・戦争の悲惨さを改めて考えさせられました。

[40代男性]

- ・丁寧で詳細な監督の説明に感動した。
- ・片渕監督と作品が大好きで参加してよかった。
当時の女性のファッションにも論点を置いてよかった。
- ・自分か気づいていないことを教えていただいと改めて感じた。
- ・映画を創り上げる、元となる資料収集が良く見られ参考になった。
- ・女性のファッションや絵日記から戦前・戦中の世相、人々の生活を割り出して作品につなげていく緻密な考証の一端を公開した監督の心意気に感謝。
- ・12回見ました。女性の働いている姿を描いているとは。
また、トーク及び質問のやりとりで参加者がこの作品に深く思い入れがあることに感動した。
- ・良い時間を過ごすことができた。

[50代男性]

- ・たんと描いてあったが、戦争の恐さ、人のやさしさが伝わった。
どうか世界から戦争がなくなりますように。人と人が憎しみあいませんように。
- ・とても考えさせられる映画でした。
戦争時代を生きてきた、また亡くなられた方々を思うと、今の時代はまるで違うと思うが、いつの時代においても、かわらないもの（人と人とのつながり・思いやり）は大切だと思う。
- ・制作の様子がよくわかった。

[60代男性]

- ・戦時中の女性の社会進出に触れていて色々と考えさせられました。
- ・個人的には、香川さんのカマキリで会場のつかみをするなんて、さすが片渕さんだと思った。
- ・とても細かい調査をしていて、監督の思いが伝わった。
- ・子ども向けアニメと思ったが、当時の暮らしの様子が描かれていて現代が夢のようで、大変な時代と感じた。とても素晴らしかった。
- ・映画制作の裏話の話が聴けてよかった。
映画制作がいかにか大変か、またいかにか情熱をもっていたかわわかった。

[70代以上男性]

- ・細かい考察をされていることに感動しました。
映画をみて戦時中を思い出し涙が止まりませんでした。空襲警報の場面は、今でも脳裏に焼きついています。

その他、多数の感想をいただきました！
ありがとうございました！

COM+S
コムス



